

# 福吉校区まちづくり推進計画（改訂） ～いとしま共創プラン

写 真  
(次年度挿入)

自然豊かで、住み続けたいまち“ふくよし”

平成30年11月

福吉校区まちづくり推進委員会

## 目 次

- 1 福吉校区の概要…
  - (1) 福吉校区の人口と世帯数の推移
  - (2) 福吉校区の行政区別人口、世帯数の状況
- 2 福吉校区の課題
- 3 福吉校区がめざす将来像  
★めざす校区のイメージ
- 4 まちづくりの基本方針
- 5 活動計画

## 資 料

- (1) 福吉校区振興協議会が実施している主な事業
- (2) 福吉校区の主な地域資源
- (3) 福吉校区まちづくり推進計画策定までの経緯
- (4) 福吉校区まちづくり推進委員会委員名簿
- (5) 福吉校区まちづくり推進事業の組織体制

写 真  
(次年度挿入)

はじめに

当初の福吉校区まちづくり推進計画は、平成22年度に発足し、発足時に校区内で住民アンケート調査を実施しました。

このアンケート調査結果を基に校区の課題を把握し、自然豊かで、住み続けたいまち“ふくよし”をキャッチフレーズに自然環境部会、安心安全部会、伝統芸能部会、地域活性化部会を設けてそれぞれの課題に取り組んでまいりました。

自然環境部会では「ますます美しいふる里づくりを目指し、自然環境の整備を行います」を基本に登山者の安心安全の為に登山道マップや標識の設置、荒廃する松林の環境整備などを行ってきました。

安心安全部会では「より安心して暮らせる生活環境づくりを目指し、高齢者対策と子どもの安全対策を推進します」を基本に自主運行バスのスムーズな運行の側面支援や福吉見守り隊の結成、青パトの購入、これによる巡回を強化してきました。また、自主運行バスや見守り隊の継続は沢山のボランティアの協力により地域の安心安全にも大きく貢献してきたところです。

伝統芸能部会では「豊かな精神文化の発揚・育成を目指し、伝統文化の保存・継承活動を推進します」を基本に校区の貴重な財産「福井神楽」を福吉小学校での神楽講座開催や福吉中学校での神楽指導を行う等この継承に力を注いできました。その効果として中学生は学校の文化祭や福吉産業祭の場で神楽披露を見事にこなすまでに成長しました。その他、各地区で行われております盆踊りや御神幸祭行列などの継承についても努力してきました。

地域活性化部会では「調和とバランスのとれた発展を目指し、校区の活性化に取り組みます」を基本に「福吉 walker」「福吉歳時記」などの作成や各種専門家による講演会を開催した他、校区文化祭やほうげんきょうへの支援を行ってきました。

校区まちづくり推進事業ではこのように様々な取り組みを行ってきましたが、少子高齢化が急速に進む中、平成31年度から今後10年間を考慮し、新規に「福吉校区まちづくり推進計画（改訂版）」を作成いたしました。福吉校区の皆さまの積極的な参画をよろしくお願いいたします。

平成30年11月

福吉校区まちづくり推進委員会

## 1 福吉校区の概況

糸島市の西端に位置する福吉校区は、九州唯一の鳴き砂の浜を有する自然環境に恵まれた農・漁村地域で、浮嶽・十坊山、二丈岳を源流とする福吉川・東川、加茂川は、農地を潤し豊かな農業と玄界灘の豊富な漁業資源を育んでいます。

交通網は、国道 202 号とバイパス、JR 筑肥線が東西に並行して走り、更には佐賀県とを結ぶ県道二丈藤川線が通り、大変便利な地域と言えます。特に JR 筑肥線は校区内に大入、福吉、鹿家の 3 駅を有し、平成 9 年に整備が行われた福吉駅は、南北が自由通路で結ばれた近代的な駅舎で、駅周辺は開発による新興住宅地として発展しています。

しかし、世帯数の増加とは裏腹に、校区の人口は減少傾向にあり、しかも高齢化が進行し高齢化率（65 歳以上）は 36.7%（平成 30 年 9 月末）と、糸島市 15 校区の中で 2 番目の高さとなっています。また、年少人口率（15 歳未満）は、12.2%で糸島市平均の 13.6%を下回っています。このような状況の中、高齢者独居世帯や高齢者世帯の増加など、少子化と併せ大きな課題を抱えている校区でもあります。

### （1）福吉校区の人口と世帯数の推移

	平成 15 年	平成 22 年 9 月末	平成 30 年 9 月末	平成 15 年対比
人口	4,261	4,213	4,004	-6.0%
世帯数	1,291	1,480	1,640	27.0%

### （2）福吉校区の行政区別人口、世帯数の状況（平成 30 年 9 月末）

行政区	人口	世帯数	年少人口	年少人口率	高齢者人口	高齢化率
佐波	239	103	17	7.1%	111	46.4%
大入	648	288	74	11.4%	258	39.8%
福井	708	284	60	8.5%	267	37.7%
吉井下	1,493	600	240	16.1%	457	30.6%
吉井上	542	205	59	10.9%	226	41.7%
鹿家	374	160	38	10.2%	150	40.1%
計	4,004	1,640	488	12.2%	1,469	36.7%
市全体	101,464	41,978	13,825	13.6%	28,824	28.4%

## 2 福吉校区の課題

住民アンケート調査では、福吉校区は“暮らしやすい”と回答した人が“まあまあ”を含めると約63%と高くなっています。その要因には、自然環境の素晴らしさや新鮮な海・山の幸、住民の人柄の良さ等が挙げられています。

反面、JRや国道、202号バイパスが走っているにもかかわらず、交通の便が悪いと回答した人が52.8%、高齢者の生きがい・活躍の場が少ない等の回答も非常に高くなっています。

校区の人口構成を見ると65歳以上の高齢者の比率が非常に高くなっています。そのような状況から次のような課題を整理しました。

- (1) 高齢化比率が非常に高く、高齢者対策が必要である。
- (2) 高齢者が活躍する場、集う場が少ない。
- (3) 道路網は整備されているが、バスなどの便がなく買い物など不便である。
- (4) 高齢者や子どもの見守り活動などの組織体制を整備する必要がある。
- (5) 地域資源の積極活用が望まれる。

このような課題を踏まえ、福吉校区の10年後の将来像や、めざす校区のイメージ、校区まちづくり推進に向けた活動計画（基本構想）を決定しました。

## 3 福吉校区がめざす将来像

自然豊かで、住み続けたいまち“ふくよし”

※福吉校区の10年後の“めざす姿”をキャッチフレーズで表現しています。

### ★めざす校区のイメージ

- ① だれもが楽しく暮らせる安心・安全のまち“ふくよし”
- ② 海や山、自然環境を大切にすきれいなまち“ふくよし”
- ③ みんなで支え合う、ぬくまりのあるまち“ふくよし”
- ④ あいさつが行き交う笑顔のまち“ふくよし”
- ⑤ 子どもたちを地域で見守り育てるまち“ふくよし”
- ⑥ 伝統文化の花咲くまち“ふくよし”

#### 4 まちづくりの基本方針

福吉校区は、校区振興協議会が組織され、従来より校区民体育祭をはじめ文化祭、マラソン大会、環境保全活動など多くの活動を行い、魅力あるまちづくりを推進しています。

このため、本推進計画では福吉校区の課題を踏まえ、福吉校区にとってより必要、かつ効果的な新たな事業に絞り実施することにしました。

- ① ますます美しいふる里づくりを目指し、自然環境の整備を行います。
- ② より安心して暮らせる生活環境づくりを目指し、高齢者対策と子どもの安全対策を推進します。
- ③ 豊かな精神文化の発揚・育成を目指し、伝統文化の保存・継承活動を推進します。
- ④ 調和とバランスのとれた発展を目指し、校区の活性化に取り組みます。

## 5 活動計画

住民アンケート調査等からの課題・要望をもとに推進委員会で協議・検討した結果、4項目の基本方針を定め、これに沿った具体的な取り組みを決定しました。実施にあたっては、各部会が専門家を招き勉強会を実施しながら、校区住民総体で実施するものであり、校区まちづくり推進委員会が事務局的作用を果たし、福吉校区振興協議会を母体に、各種団体等と連携し行う必要があります。前にも述べたように校区振興協議会の既存事業（5P参照）は継続しながら、新たな活動計画として次に掲げる事業を推進します。

### 基本方針1

ますます美しいふる里づくりを目指し、自然環境の整備を行います。

分野	活動計画内容	実施期間
自然環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>●里山、松林の保全に関する取り組み               <ul style="list-style-type: none"> <li>・竹林の駆除活動、松林の回復、保全の推進</li> <li>・伐採竹の活用法研究など</li> </ul> </li> <li>●里山、松林の保全田畑の耕作放棄地に関する取り組み               <ul style="list-style-type: none"> <li>・田畑のオーナー募集など</li> </ul> </li> <li>●果樹園等の後輩対策に関する取り組み               <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光農園マップの作成など</li> </ul> </li> <li>●真名子砂防ダムを利用した取り組み               <ul style="list-style-type: none"> <li>・生物群集の生息空間の確保など</li> </ul> </li> </ul>	2019年度～ 2028年度
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●遊歩道、登山道等の整備               <ul style="list-style-type: none"> <li>・登山道の整備 ・登山道案内板作成・設置</li> <li>・登山道や遊歩道の新規開拓など</li> </ul> </li> </ul>	2019年度～ 2028年度

### 基本方針2

より安心して暮らせる生活環境づくりを目指し、高齢者対策と子どもの安全対策を推進します。

分野	活動計画内容	実施期間
高齢者対策 や子どもの 安全対策	●子どもや高齢者など、住民の安心・安全対策 ・子どもの見守り隊の実施 ・見守りグッズの整備 （腕章、帽子、ユニホーム等） ・巡回パトロールの実施など	2019年度～ 2028年度
	●自主運行バスの運営 ・自主運行バスの運行の研究 ・ボランティア運転手の募集 ・隅すみまで行き届く車両の運行など	2019年度～ 2028年度

### 基本方針3

豊かな精神文化の発揚・育成を目指し、伝統文化の保存・継承活動を推進します。

分野	活動計画内容	実施期間
伝統文化の 保存・継承	●文化遺産や観光資源の保存・整備活動 ・観光地の整備 ・案内板、説明板の設置 ・パンフレットの作成 ・地域の伝統行事等の映像保存など	2019年度～ 2028年度
	●伝統文化の保存・継承活動 ・後継者の育成 ・神楽や盆踊り、祭りの保存・継承など	2019年度～ 2028年度



#### 基本方針4

調和とバランスのとれた発展を目指し、校区の活性化に取り組みます。

分野	活動計画内容	実施期間
校区の活性化	●地域行事の充実 ・さまざまな機会を利用したPR活動 ・文化祭などの既存事業の充実など	2019年度～ 2028年度
	●地域特産品の開発・研究 ・地域資源を活用した特産品の研究・開発など ●少子高齢化の取り組み ・小学校、中学校の一貫校の推進など	2019年度～ 2028年度

※上記活動計画は、福吉校区の2019年度から10年後のあるべき姿を指示した「基本構想」です。具体的な事業の計画、実施にあたっては、毎年、福吉校区まちづくり委員会で、「事業計画書」を策定し実践していくことになります。

## 資料編

### (1) 福吉校区振興協議会が実施している主な事業

事業(活動)名	実施主体(担当)
○福吉校区文化祭	総務部会
○まちづくり講演会	総務部会
○行政区別青少年育成懇談会	青少年部会
○夏季夜間巡回パトロール	青少年部会
○あいさつ運動	青少年部会
○合同運動会(小学校)	体育部会
○校区マラソン大会(小学校合同)	体育部会
○行政区別人権問題自主学習会	人権部会
○人権フィードワーク	人権部会
○人権講演会、映画祭	人権部会
○姉子の浜(鳴き砂)清掃活動	環境部会

### (2) 福吉校区の主な地域資源

- 加茂ゆらりんこ橋 □二丈溪谷 □真名子木の香ランド □福寿台  
□福ふくの里 □しおさい公園 □羽島 □立花運動場  
□姉子の浜(鳴き砂) □包石(県境) □浮嶽神社 □浮嶽 □十防山  
□二丈岳 □大入盆かずら引き □福井神楽 □神幸祭

写 真  
(次年度挿入)

(3) 福吉校区まちづくり推進計画(改定)策定までの経緯

平成30年 9月20日 校区まちづくり委員会

11月20日 校区まちづくり委員会

11月30日 校区まちづくり推進計画(改定)市に提出

(5) 福吉校区まちづくり推進事業の組織体制

47

